

アチエメックの風

あいち小児保健医療総合センターだより



第64号

令和6年 夏 発行

●発行●
あいち小児保健医療
総合センター

診療科トピックス

救急科

地域の小児急性期診療拠点として 進化を続けています

小児救命救急センターでは子どもたちの風邪や胃腸炎、ケガなどの軽症によくある症状から、心肺蘇生が必要な心肺停止、けいれんが止まらない痙攣重積、人工呼吸器や体外循環（ECMO）が必要になるような重症な呼吸不全や循環不全の子どもの施設間搬送まで、子どもに起こるすべての症状に対応しています。2023年には、救急の受診者数は9,000名以上、救急車搬送受け入れは1,500件以上、ヘリコプターやドクターカーを用いて他の病院で発生した重症な子どもを迎えに行く施設間搬送は160件でした。また、2024年からは藤田医科大学が運用している豊明ドクターヘリと連携し、重症な子どもの転院搬送を希望している病院へ、あいち小児の救急科/集中治療科のスタッフを送り込むドクターデリバリーシステムも構築しています。それにより、ドクターカーで向かうより速く、救急集中治療を専門にした医師の診療を開始することができるようになりました。このように、この地域の重症小児の診療を行う最後の砦として、また、急に発生した子どもたちへの初期対応拠点として、スタッフ一同、日々、スキルを磨いてまいります。



救急棟と
救急車・ヘリコプター



新任医師紹介

令和6年6月1日現在

●令和6年度、新たに25名の医師を迎えました。



太田 一志
集中治療科



奥村 遼
集中治療科



伊藤 拓海
集中治療科



住田 互
小児外科



山田 佑也
新生児科



鈴木 雄一郎
眼科



野崎 雄揮
産科



鈴木 良輔
神経内科/新生児科



山田 七彩
総合診療科



小栗 萌花
総合診療科



川口 朱莉
麻酔科



中嶋 幸恵
麻酔科



北西 水紀
麻酔科



浅見 経之
アレルギー科



宮城 裕人
アレルギー科



大海 美波
アレルギー科



稲垣 篤志
感染免疫科



政岡 凌
腎臓科



佐田 惇
腎臓科



山田 直紀
神経科



中尾 巧晃
歯科口腔外科



小野 あゆみ
形成外科



看護部だより

救急外来

救急外来では、重症度や緊急性の高い病気やけがの子どもたちを、24時間365日受け入れられるように取り組んでいます。来院した患者さんは、トリアージナースが問診や診察を行い緊急度の判断をした上で、医師の診察に繋がっています。また、救急外来では直接来院された子どもたちに加えて、他の病院からの要請を受けて、医師と看護師がチームとなり患者さんをお迎えに行くこともあります。移動中も子どもやご家族の不安が少しでも取り除けるよう努めています。愛知県内だけでなく東海3県や、さらに遠方の病院からの依頼にもお応えしています。

診察の場面では、子どもと家族中心の医療を提供し、子どもたちの代弁者として取り組むことを大切にしています。採血などの処置や検査を行う前には、一人一人に合った説明をすることで、不安や恐怖を最小限にし、その子どもが持つ頑張る力を引き出せるようにしています。

小児救命救急に関する教育や情報発信も積極的に行っています。発熱や嘔吐などがあつたとき、どのようにおうちで過ごしたらよいか、次の受診のタイミングはいつなのかをご家族にお伝えするホームケア指導にも力を入れています。小児センターのホームページで見ることができますので、是非ご覧ください。やけどや異物誤飲など家庭内で起こる事故についても、事故が起きてしまった原因やどうすれば予防できたのかを一緒に考え、子どもたちがより安全に過ごせるようにご家族をサポートしています。



私たちも活躍しています

スタッフ紹介

視能訓練士

私たち視能訓練士は、医師の指示のもと目に関わる様々な検査・訓練・指導を行っています。子どもの目は生まれてすぐに発達を始めます。特に乳幼児期は適切な視覚刺激を受けることによって視覚が成長する大切な時期です。当院の眼科を受診される患者さんのほとんどはこの時期にあたり、目の異常の早期発見・早期治療が行えるように眼科医師や看護師と連携しながら業務を行っています。

今回は屈折検査についてお話しします。この検査は眼球の形から屈折の種類や程度を測定し、視力の発達を妨げる原因となる強い遠視・近視・乱視を見つけることができます。器械にお顔を乗せて目を動かさずに中の絵を見ていれば、短時間で測定が完了する検査で

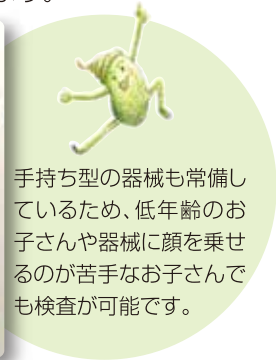
すが、お子さんの場合は上手くいかないことも多く、いかに注意を引きつけながら短時間で正確な測定結果を出せるかが、訓練士としての腕の見せ所になります。

子どもは調節力といってピントを合わせる力が大人よりも強いため、正確な屈折検査の結果を得るためには、調節力を一時的に麻痺させる目薬を使って調べることがあります。点眼は自宅でお願ひする場合と病院で行う場合があります。病院で行う場合は、薬の効果が得られるまで待ち時間がかかります。目薬に関してご不明な点がありましたらお申し出下さい。

皆様安心して楽しく検査を受けて頂けるように、職員一同これからも努力していきますのでよろしくお願い致します。



屈折検査の検査風景



手持ち型の器械も常備しているため、低年齢のお子さんや器械に顔を乗せるのが苦手なお子さんでも検査が可能です。

医療連携室

(患者様をご紹介いただく医療機関の皆様へ)

当センターの医療連携室は、地域の医療機関の皆様との円滑な連携に努め、患者様に専門的な医療を提供しております。

ご利用には「登録医としての登録」と登録医からの「診療申込み」が必要となります。当センターの医療連携室を是非ご活用ください。

TEL.0562-43-0508 FAX.0562-43-0510
URL: <http://www.achmc.pref.aichi.jp/>

受付 月曜日～金曜日

時間 9:00～17:00

祝日、年末年始を除く。



外来診療のご案内

- 外来受付は、A～Dのブロックごとの受け付けになりました。
- 再診の際は、再来機受け付け後、グリーンファイルを各自で取り、診察へお進みください。
- 詳細については、ホームページ等でお確かめください。
- 当センターの受診は、紹介予約制です。お電話にてご予約ください。

予約電話番号 **0562-43-0509** ファクシミリ **0562-43-0510** (9:00～17:00まで)

◆診療時間

午前9時から正午まで／午後1時から午後4時まで

◆休診日

土曜日・日曜日・祝日・年末年始

あいち小児保健医療総合センター

〒474-8710 大府市森岡町七丁目426番地
TEL (0562) 43-0500 FAX (0562) 43-0513
URL: <http://www.achmc.pref.aichi.jp/index.html>



PRINTED WITH
SOY INK™
大豆インクを使用しています